

## MTM 導入・構築セミナー感想文

医院名 : グリーンヒルズデンタルクリニック (宮城県登米市)

実施日 : 2012年6月20日(水)

実施内容 : MTM 導入・構築セミナー (第2回目)

< 歯科衛生士 佐々木優 様 >

### 第2回MTM構築セミナー

前回は引き続き、悪天候の中、神奈川県から講師の徳本さんがいらしてくださいました。

今回は主に、ペリオの講義と実習でした。

午前中は“わかる！できる！実践ペリオドントロジー”の講義でした。歯周病因論を始め、実際毎日行っているはずのことの再確認をさせていただきました。

徳本さんのお話の中でさすがだなと思った点が多々ありました。

1つは、担当の受診者が治療の間、自らメンテの予約を取り担当DHと治療の相談をしたがるという点です。双方の信頼関係が築けているからこそだと思います。当院でも担当制を取ってはいますが、治療の間に自らメンテナンスのアポを取ったり、DHと治療の相談をしたいという人はなかなかいません。中には偶然会った時に、この間こういう治療だったのだけどころなのか？といった立ち話をすることはあります。しかしそれは担当だからというのとはまた意味が違う気がします。この信頼関係に関しては、まだまだ足りない点の1つであり、課題であります。今後信頼関係を築けるよう、もっと親身になって受診者の声に耳を傾けていきたいです。

2つ目は、徳本さんが行っているセミナーは、“DHの底上げ”ではなく“トップを作る”という点です。確かにいろんな受診者がいる中、全員を同じレベルにすることはかなりのスキルと努力が必要になります。しかし、数人の健康観の高い受診者を作ることにより、その人達が他の受診者を引っ張って行ってくれる存在になり、また、口コミで未来院の純初診を増やしてくれることにつながる気がします。DHも同様、初めは少人数であっても、そこから徐々に増えていけば、適切な予防が広まり、MTMの周知活動にもつながるはずです。

3つ目は禁煙活動です。私も実際受診者の方で極端に喫煙本数の多い方には禁

煙を進めてはみますが、本人も「タバコが体に悪いのは分かっているんだけど、なかなか止められないんだよね～」という意見がほとんどです。しかし、本やDVDで禁煙に成功した人がいることを知り、禁煙活動に興味を持ちました。私の父もヘビースモーカーで、数年前に1度数か月間禁煙をしていたものの、また喫煙を始めてしまいました。以前禁煙をした時は自分の意思だけで行っていたのですが、そこにDVDや本をプラスすれば、今度こそ禁煙成功になるのではないかと少し希望が見えました。ぜひDVDか本を購入して、父にプレゼントをしたいです。

4つ目はカリオグラムの説明に関してです。

私の説明は、スコアの大きかった項目に的を絞って、「ここがこうなるとスコアが小さくなり、カリオグラムが大きくなってう蝕のリスクが下がりますよ」といったシンプルなものでした。説明の時間はせいぜい5分程度です。

しかし徳本さんは、説明に20～30分かかっていると聞き驚きました。しかし実際に説明を聞いてみるとそんなに長くは感じませんでした。逆にもう少し詳しく聞きたいと思いました。そこが徳本さんの魅力なのだと感じた部分でもありました。

自分に置き換えてみると、説明した最後に必ず「今の説明で分からない点はありませんでしたか？」と尋ねるようにしています。しかし、受診者から“分からない”といった声はほとんど聞いたことはありませんでした。それは、“本当に理解していて大丈夫”なのではなく“分かっているから質問もない”のだと今日の徳本さん説明を聞いて分かりました。

普段の説明では、丁寧に分かりやすく説明しているつもりでしたが、正にそのつもりで、こちらが一方的に話しているだけで、実際受診者は理解できていなかったのだと感じました。今後は“受診者の理解”に目をむけて、しっかり説明をしてゆこうと思います。

午後は自分の担当の受診者の症例発表です。前回の症例の続きも好評をいただいたのですが、それを実行することに対して少し不安を感じています。う蝕リスクが高いために1か月毎のSOTを行っているのですが、それを3Mのメンテナンスへ以降するといことが本当に適切なのか、新たなう蝕を発症することにつながるのか、不安はつきません。次回の来院時までにはプランを練り、受診者と相談しながら進めていきたい課題です。

また、もう1つの症例のように、手遅れになってしまう前に1人でも多くの

受診者の口腔内を守るためには、その症例が反面教師になることも知りました。

健康な方はそうでない方に比べ、なかなか健康の素晴らしさに気づけません。1本でも歯を失っていれば、歯の大切さを、身をもって確認できますが、健康な方はそういうわけにはいきません。

そこで、放っておくところになりますよという症例を見せることにより、脅しとまではいきませんが、こうならないために頑張りましょうという動機づけにつながると思います。

1人でも多くの方の健康を守るためには、そういった方法も効果的であることを確認させていただきました。

それから、グレーシーキュレットのシャープニングも教えていただきました。

キュレットの形態や特徴を把握しておくことはとても重要なことです。また、DHにとって、キュレットのシャープニングは初期治療を成功させるためには必要不可欠なことです。今後シャープニングをする際は、今回教えていただいた基礎を思い出しながら、しっかり行っていきます。

今回のセミナーでは本当にたくさんの収穫があり、明日から実践に診療に生かせることばかりなので、明日からまた頑張ろうと身の引き締めにつながりました。

しかし、時間が経つにつれ、この気持ちが失われてしまうのが現実です。

このモチベーションを1日でも長く持たせるために、なんらかの形で定期的にセミナーに参加させていただきたいと思いました。

機会がありましたら、またぜひよろしくをお願いします。

< 歯科衛生士 佐藤千恵 様 >

今回の MTM 構築セミナーもとても勉強になりました。

私は前回の症例発表が苦い経験に終わり、“絶対リベンジしてやる”精神で症例発表に臨みました。この前より少しはましになったかと思います。午前中の講義を受けているときに“重度には目立つから目が行きやすいし、改善も著名で受診者もわりかし一生懸命やってくれるから改善も目立つが、重度は初期と中等度の人の中で数割にしか満たない。初期や中等度の口腔内の健康を守っていくことが大事。”というお話を受け内心自分の症例が重度なので自分の考えが DDS だなあと恥ずかしくなりました。悪いところに目が行きがちでした。そういった考え方を元に戻すいい機会にもなりました。

また、自分の口腔内写真の甘さにも今回徳本さんに言われて自分に厳しくなろうと思いました。私の性格も“ま、いっか”という性格なので改めていかなければと思いました。この先ずっと残るものなので後から見て後悔しないように1枚1枚気合を入れて撮っていきます。

午前中のペリオの講義ですが病因論からお話ししていただき、一度学校で習ったことですが忘れていたことを思い出したりしながら聞いていました。(特に好中球やマクロファージなどです。)

喫煙者に禁煙外来を勧めていたり、パンフレットや本を読んでもらうようにしている徹底さに驚かされました。こちらから受診者に“喫煙は歯周病に悪いからやめましょう”と話してはいます、受診者から“禁煙を強制していいのか?”や“やめたいけどどうやったらやめられるかわからない”といった質問を受けることが多々あります。そういった手助けも当院で取り入れていけたらと思っています。また、吸っていない若者に“1本を吸わせない努力”をしていけたらと思います。

また徳本さんのカリオグラムの説明に圧巻でした。テープレコーダーに録音したいと、聞いている間ずっと思っていました。説明がどんなに大事かということと受診者に理解していただける説明を心がけ、まずは徳本さんみたいに自信を持って説明していきたいです。

シャープニングの実習はとっても勉強になりました。学生時代に“11時と1時”で指導していただいていたため、シャープニングをしても毎回切れ味がイマイチだなあと感じていたからです。徳本さんのチーズさえあればこれからシャープニングをするのが怖くないです。

今回のセミナーで強く感じたことは唾液検査やフロスを勧めるにしても徳本さんが“絶対必要なものだから”と自信を持って勧めていたことです。私は受診者に断られたらどうしようと弱気に勧めているところがあります。院長にも以前指摘された点でもあります。このシステムがいいことを心から信じているのだから強気に受診者と接していかなければと今は奮闘中です。

8月のSRPのセミナーもとても楽しみにしています!!その時まで少しでも成長した私をお見せできるように努力してまいります。

<DA 千葉江里子 様>

セミナーに参加して

今回私は初めて講習会に参加させていただきました。徳本さんにもお目にかかれてよかったです。

まず徳本さんを見てとてもいきいきと仕事の話がされていて輝いて見えました。まだ働き始めてまもない私はMTMを熟知しておらず毎日の診療にいっぱいいっぱい正直ついていけないのか不安でした。そんな時徳本さんとお会いして徳本さんの今している仕事が心から自信がもてるものだということがものすごく伝わってきました。

医院で診療中の合間に患者さんに見せているビデオの中に、熊谷先生がでてきます。ビデオの中の熊谷先生がおっしゃっている言葉の中で、「良い歯医者さんを見つけるのではなく、予防を行なっている歯医者さんを見つけてください」とおっしゃっていました。

確かに、ご近所なんかで良い歯医者先生を知らないかという聞き方に今までなにも違和感を感じなかった私ですが、予防を中心としている歯医者さんに勤めてから初めて熊谷先生がおっしゃっている意味を理解しました。

その他にも、徳本さんが熊谷先生から聞いたシロアリの話がとてもわかりやすかったです。家の柱を歯と置き換えて、シロアリを虫歯と置き換えます。シロアリが柱を食べたら柱を直しますか？ちがいますよね、柱だけ直しても根源となるシロア리를駆除しなければまたシロアリが柱を食べてしまうという繰り返しです。

この例え話を聞いて、素人に近い私でも、そうか！と納得しました。虫歯も同じで何が原因で虫歯になってしまったのかきちんと調べて一人一人に合った予防がすることができる。さっそくこの日家に帰ってから母にこの例え話を聞かせて納得してもらいました！

徳本さんに言われた言葉の中でもっと頑張ろうと思ったことは、歯科助手でも衛生士より極められることです。国家資格をもたない歯科助手は、衛生士とちがって直接患者さんの口の中を治療するということができません。なので、歯科助手は歯科医師のフォローや衛生士のフォローで診療を止めないようにアシストをするだけだと思っていました。

しかし、日吉歯科で働いているベテランの歯科助手の方は熊谷先生が次に何をして何を欲しているかどうすればもっと効率良く物をとれるか常に考えていて、その方がいなければ先生が今日は治療しないというくらい信頼されており衛生士も一目置いている、職種なんて関係ないという話を聞きました。

その話を聞いて私でもできることが見つかりました。患者さんの口に直接触れ

なければアシスタントとしてのスペシャリストになろうと思いました。いずれ先生とアウンの呼吸でアシスタントができるようになるのが今の私の目標です。徳本さんとお会いして刺激になることがたくさんありました。参加してよかったです。7月にまた会えると思うのでまた話ができると思うと楽しみです。ありがとうございました。

以上